

（仮称）富秋学園について

～富秋学園への就学を選択できる保護者の方向け～



和泉市教育委員会

目次

1. これまでの検討の経過
2. 施設一体型義務教育学校について
3. 富秋学園の施設整備について
4. 富秋学園の特徴について
5. 通学路について

以下、(仮称)富秋学園の(仮称)は省略します。

1. これまでの検討の経過

- 和泉市では、各学校の児童生徒数、学級数、教育環境等を勘案しながら、統合した場合の児童生徒数、学級数、教育環境等を整理し、施設一体型義務教育学校の導入を推進。

(和泉市の施設一体型義務教育学校)

平成29年4月開校	南松尾はつが野学園
令和7年4月開校	槇尾学園
令和9年4月開校予定	富秋学園

※グラウンドや外構整備を経て、令和10年4月に完全開校

- 富秋中学校区も、幸小学校・池上小学校・富秋中学校の児童生徒数が減少していること、また、各学校の老朽化等を踏まえ、施設一体型義務教育学校の導入を決定。

経過

- 平成30年 : 地域住民主体の「富秋中学校区等まちづくり検討会議」を設立し、検討開始
- 令和2年 : 「富秋中学校区等まちづくり構想」を策定
※施設一体型義務教育学校を導入し、教育環境の向上を図ることとする
- 令和3年 : 和泉市適正就学対策審議会への諮問・答申を経て、新校の整備を開始
- 令和3年 : 「富秋中学校区学校開校準備委員会」を設立し、通学路や服装について検討

児童生徒数の状況 (令和8年4月1日現在)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
幸小学校	16	17	24	16	19	20			
池上小学校	25	26	30	24	23	34			
富秋中学校							39	41	47
合計	41	43	54	40	42	54	39	41	47

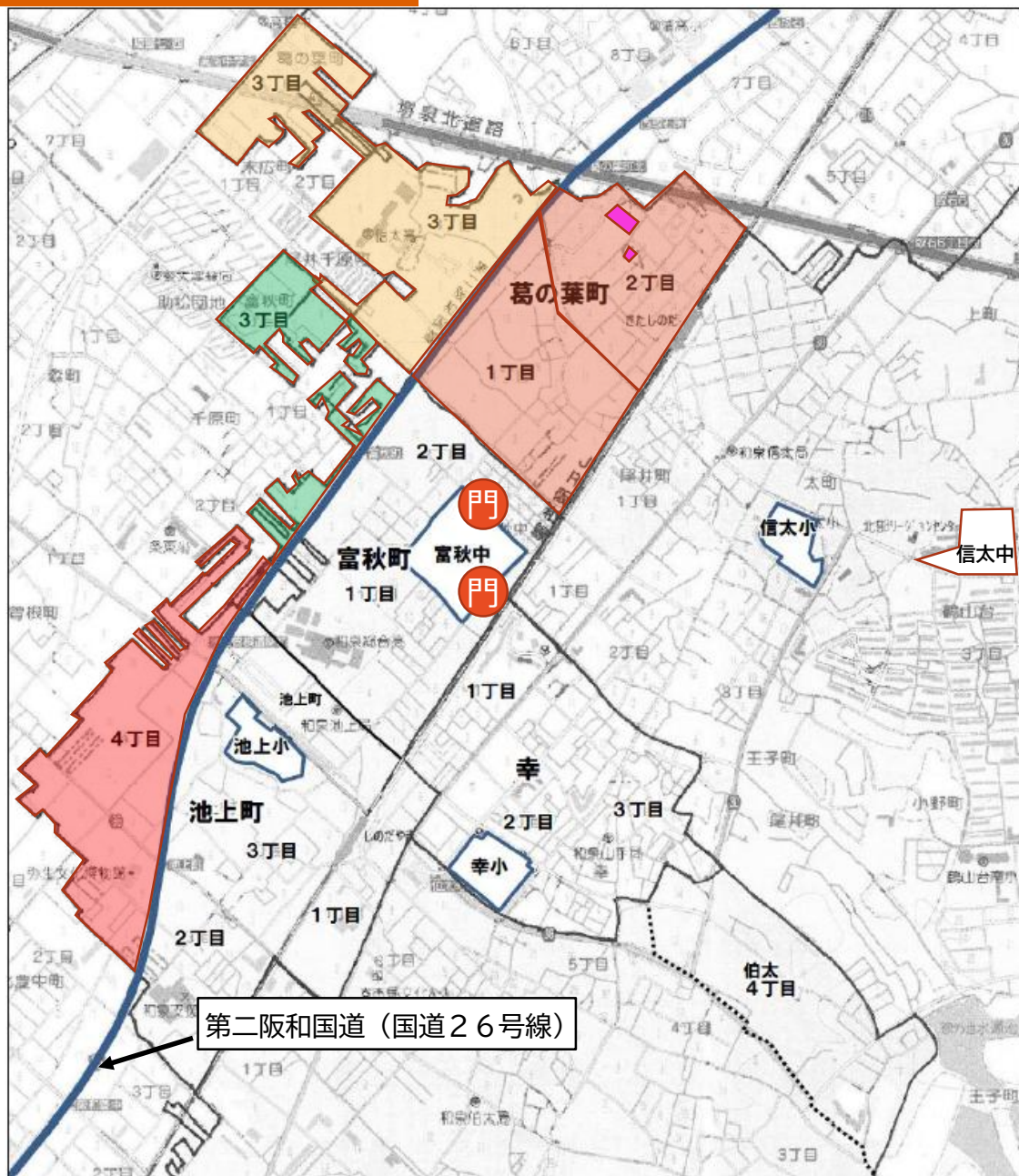
葛の葉町等※	47	34	46	37	41	34	39	50	49
--------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

※葛の葉町一丁目～三丁目や富秋町三丁目、池上町四丁目など富秋学園への就学を選択することができる児童生徒数

(参考) 信太中学校区

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
信太小学校	88	66	70	64	81	68			
鶴山台北小学校	47	39	39	51	36	42			
鶴山台南小学校	21	34	28	20	41	30			
信太中学校							137	129	142
合計	156	139	137	135	158	140	137	129	142

就学区域図



- 現富秋中学校敷地に新校舎を設置
- 葛の葉町から信太小学校へ通う場合と比べて、ほとんどの方が距離が短くなり、さらに線路を横断する必要がなくなる
- 葛の葉町からは南側の正門ではなく西門から入ることができ、通学しやすい

2. 施設一体型義務教育学校について

施設一体型義務教育学校とは、

- ・ 1年生から9年生が通う学校
- ・ 校長、副校長、前期課程（1～6年生）教頭、後期課程（7～9年生）教頭 4人の管理職を配置
- ・ 全ての教員が連携した体制を確保
- ・ 教育課程は他の市立学校と同じだが、義務教育9年間を通したより系統的な教育課程を編成

目的に応じてフレキシブルに4・3・2制を導入して子どもたちを育てます。9年間の義務教育課程を一貫したカリキュラム編成のなか、学びの多様化や弾力化に対応します。



前期課程				後期課程				
ファーストステージ				セカンドステージ			ファイナルステージ	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
○学級担任を中心とした学習 ○基礎・基本の定着 ○学習習慣の定着				○一部教科担任制からなだらかに教科担任制(後期課程へ移行) ○基礎・基本の徹底と応用力			○専門的な学習の充実 ○確かな進路選択の保障	

良さ

- 小学校から中学校への接続がスムーズに行うことが可能で、中1ギャップが緩和される
- 教員間で児童生徒の情報を共有しやすいため、9年間を通した、きめ細やかで丁寧な生徒指導が可能
- 下級生の上級生に対する憧れや、上級生から下級生に対する思いやりの気持ちなど精神的な発達や社会性の育成効果が期待される
- 後期課程の先生が適宜、前期課程の授業で専科指導を行うことで、早い段階から専門的な授業が受けられる

課題

- 小学校卒業の達成感がない、中学校の新鮮さがない
- 小学校高学年時に学校行事において、重要な立場となりリーダーシップや自主性を養う機会がなくなる
- 人間関係が9年間固定化

Q. 小学校から中学校への切り替えがなく、メリハリがない？

A. 入学式は1年生の入学時、卒業式は9年生の卒業時の開催となりますが、6年生修了時に前期課程修了式、7年生進級時に立志式を行うなどして、メリハリをつけることができます。

Q. 6年生に最高学年の自覚を持たせられない？

A. ファーストステージ、セカンドステージ、ファイナルステージでの最高学年（4年生・7年生・9年生）でリーダーとして活動することで、9年間で3回の自覚を持たせる場面があります。

Q. 小学生が中学生の問題行動に影響されない？

A. 上級生は下級生への思いやり、下級生は上級生へのあこがれをもつことができるようになることも報告されています。

Q.保健室や図書室は小学生と中学生でニーズが違うのでは？

A.養護教諭は2名配置で、保健室も前期・後期の2室あります。図書館は1つですが、それぞれのニーズに応じた図書を配架します。また、小学生と中学生だけでなく、地域の方も同じ図書館を使うことで、読み聞かせなど様々な交流が生まれやすい環境となっています。

Q.運動場や体育館の利用が制限されない？

A.運動場の広さ、体育館の広さを十分にとっているので、制限はありません。

義務教育学校における取組み

- これまでブックフェスティバルなどのイベントで中学生による小学生への読み聞かせの機会を創出してきましたが、義務教育学校として1～9年生の児童生徒が同一施設の中で教育活動を行なうことにより、上級生が下級生に読み聞かせを行う機会を設けやすくなり、上級生の自己有用感の育成につなげます。
- その他、南松尾はつが野学園・槇尾学園での、義務教育学校における実践、実績も参考に特色ある教育活動を富秋学園でも展開していきます。

3. 富秋学園の施設整備について

■ 配置図

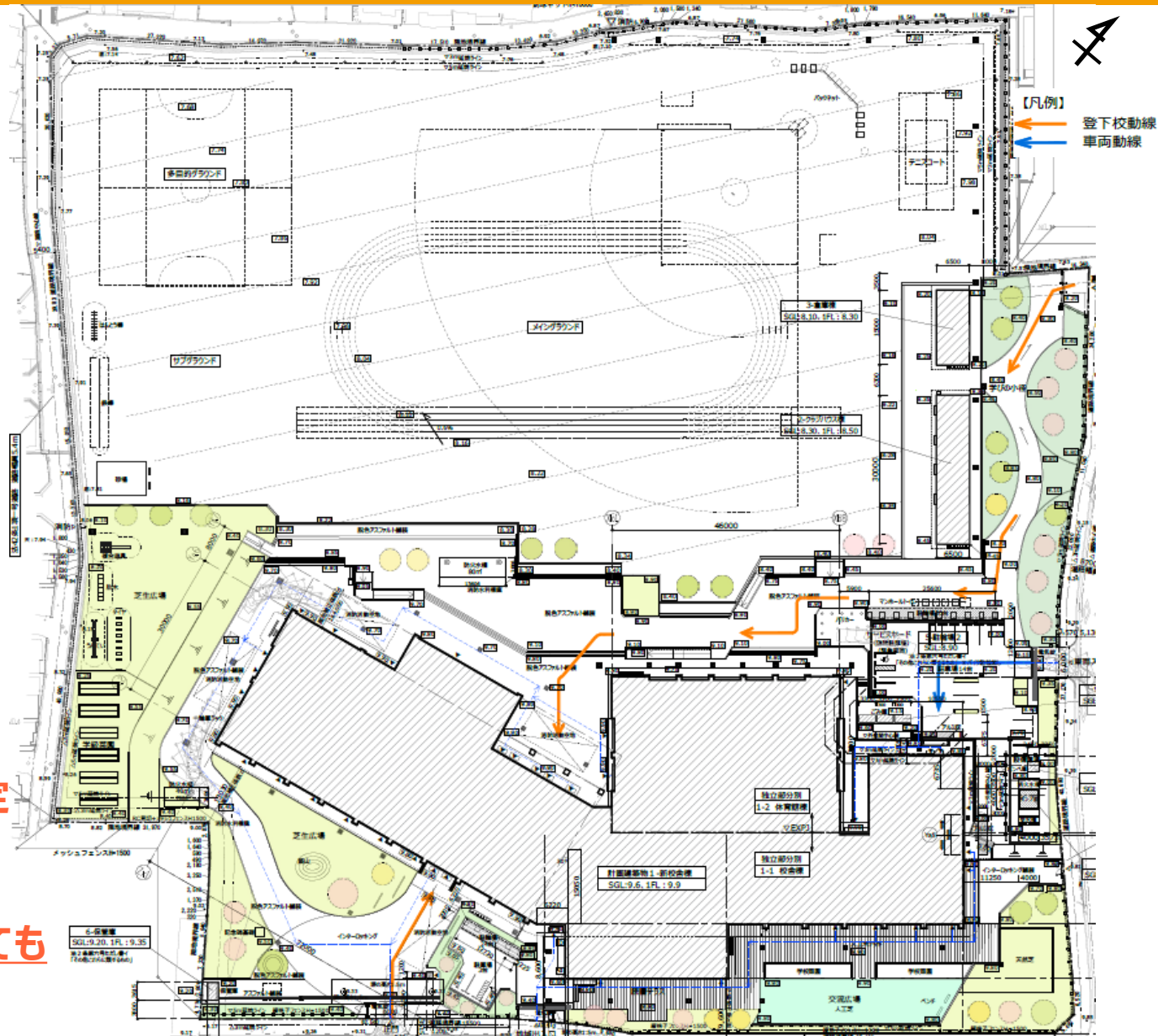
規模：地上3階建て
構造様式：鉄筋コンクリート造
敷地面積：39,821.90m²
延床面積：12,550.83m²

(参考)榎尾学園

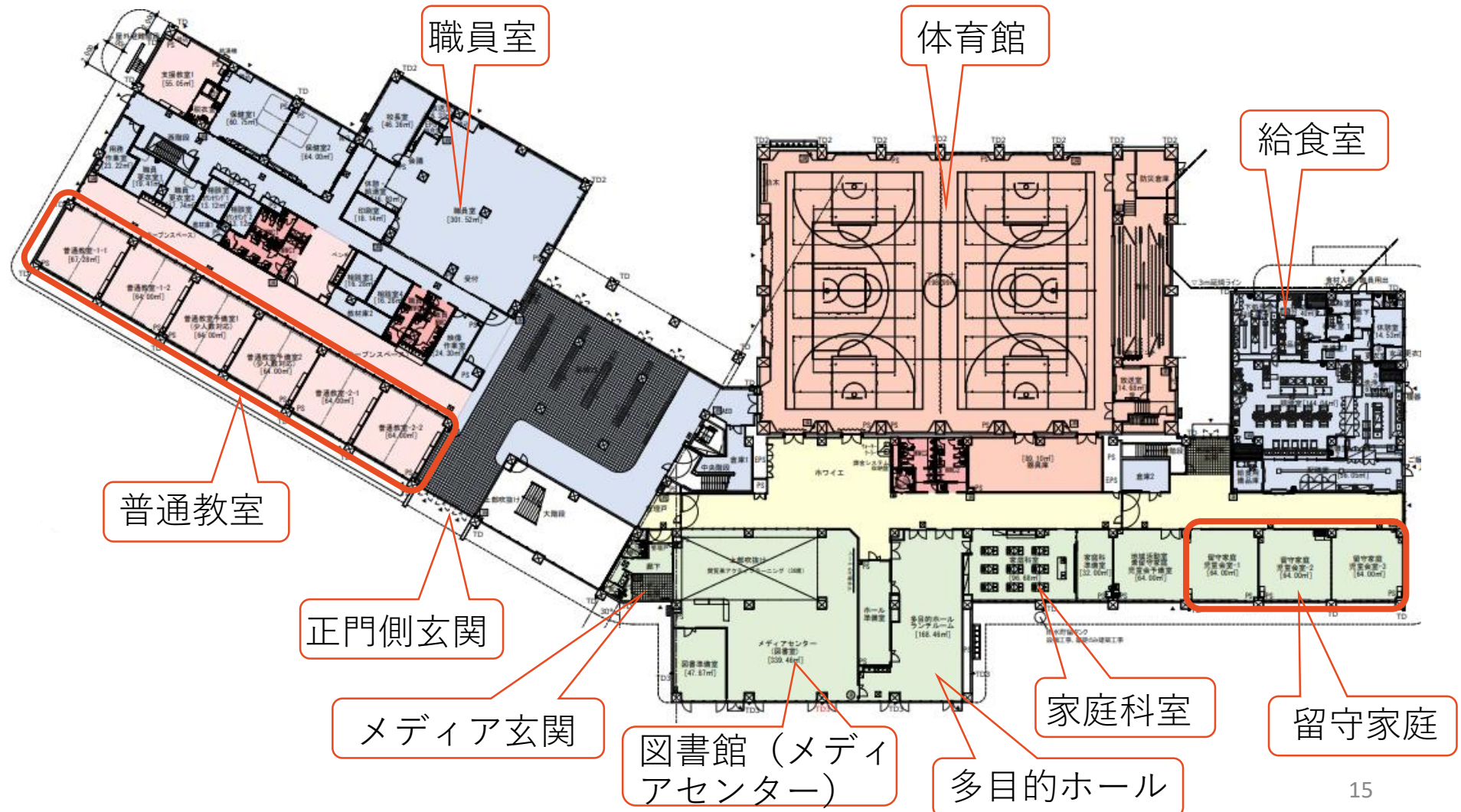
規模：地上2階建て
構造様式：鉄筋コンクリート造
(一部鉄骨造)
敷地面積：20,602.27m²
延床面積：9,071.72m²

普通教室は27教室を整備予定
(1学年3学級程度を想定)

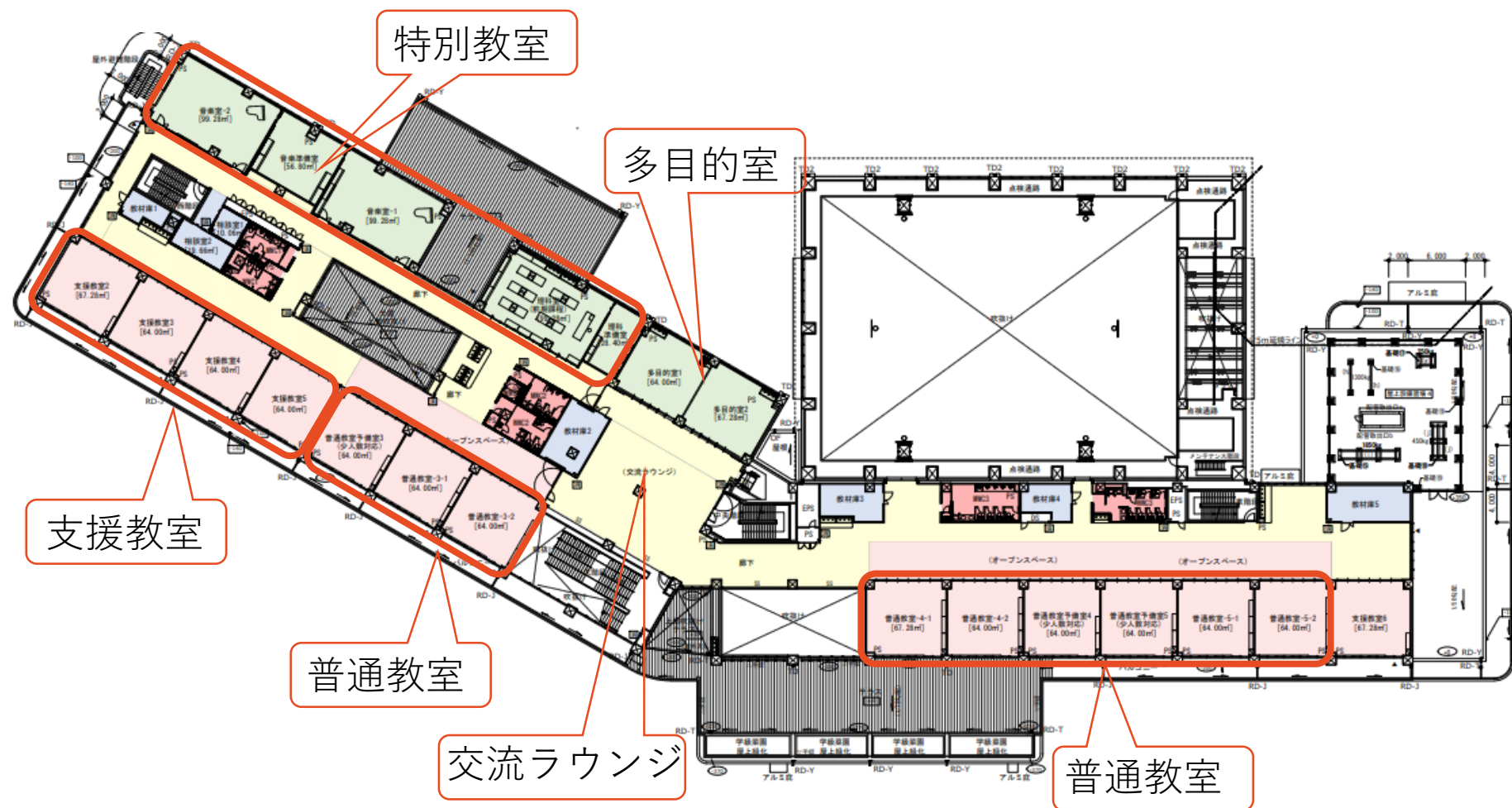
敷地面積は市内の他校と比べても
かなり広い



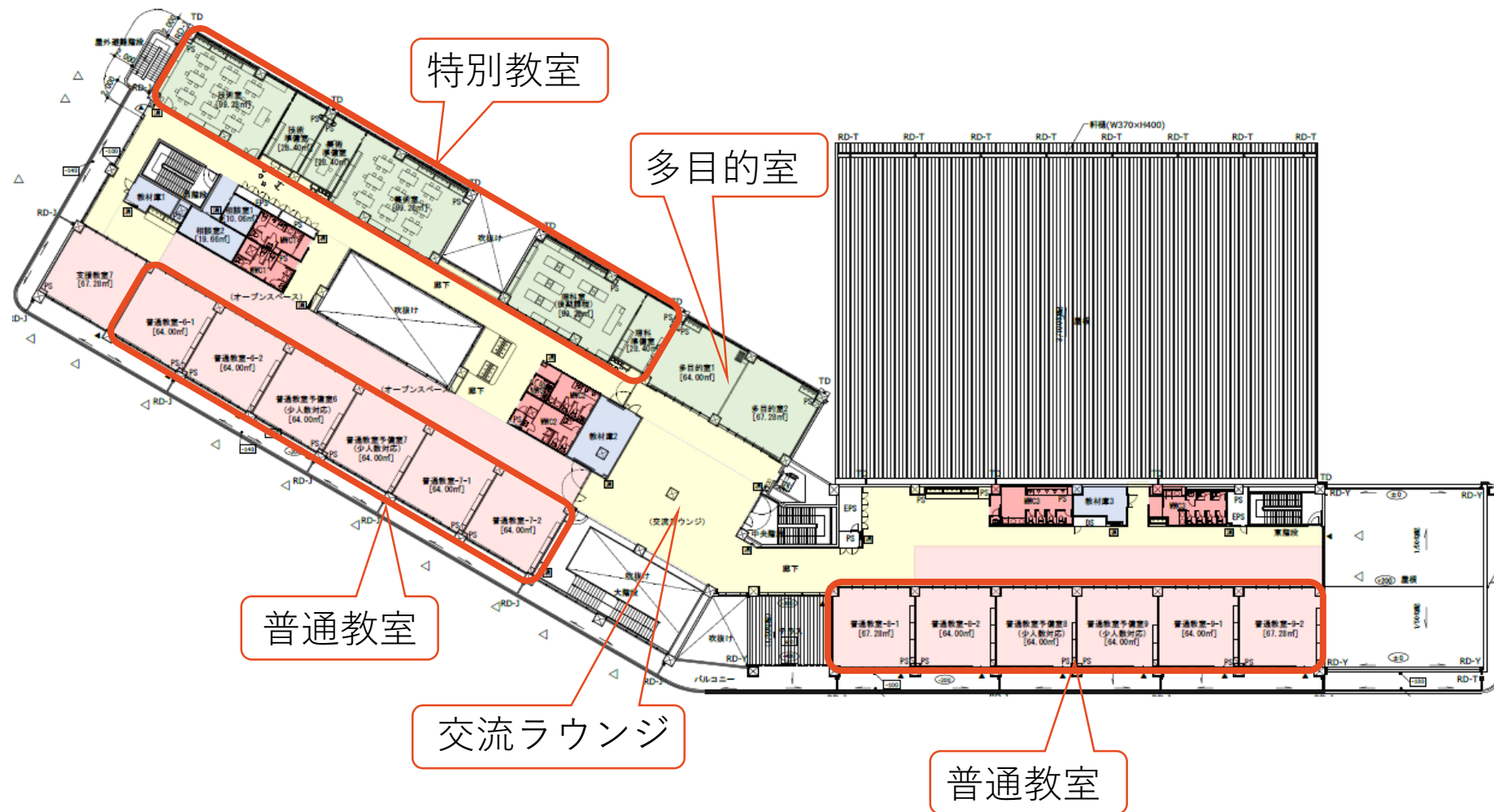
■ 平面図 (1F)



■ 平面図 (2F)



■ 平面図 (3F)



■ 芝生広場

- ・校舎の西側と南側には、天然芝の広場を整備
- ・西側には遊具を設置し、低学年の児童でも安心して遊ぶことができる環境



(イメージ)

■ 交流ラウンジ

2階と3階の中央配置

- 校舎の東側と西側をつなぎ、大階段により上下階も結ぶ学校の中心
- 人と人をつなぐ交流の場として、オープンな空間を確保

プロジェクターと壁面ホワイトボード

- 児童生徒の作品やイベント時の写真などを掲示できる
- 広い空間での学習や発表も可能



(イメージ)

■多目的室 1・多目的室 2

- ・児童生徒が主体的・対話的に学ぶことができる空間を創出
- ・多目的室の間を可動間仕切とすることで2教室分の広いスペースを利用可能



参考：彦根市アクティブラーニング教室

- ・プロジェクターや壁面ホワイトボードの設置
- ・自在にレイアウトできる机や椅子を導入することでグループワークやディスカッションなど様々な授業に対応

施設について

■ 壁面ホワイトボード

○表現できるスペースの拡大

- ・板書スペースの拡大
- ・授業内容を消さずに、並行して書き続ける
- ・グループ発表や意見共有の場として使用できる

○プロジェクターとの連携

- ・ワイドな投影が可能
- ・拡大表示

■ワイドプロジェクター

- ・最大130インチのワイド投影
- ・より大きく、より見やすく伝えることができる
- ・大画面で迫力ある映像が流せる
- ・2画面投影が可能



参考：愛媛県 宇和島東高等学校



参考：東京都 宝仙学園小学校

従来の
プロジェクター



ワイドプロジェクター
約115cm



TVモニター



縦62cm

横110cm

※先生の説明資料と子どもたちの発表資料や
子どもたち同士の意見を並べて表示できる

4. 富秋学園の特徴について

図書館の地域開放

① 地域開放の目的

図書館を地域に開放することで、学校を身近に感じてもらい、「地域とともにある学校づくり」を促進する。

② 開放日と時間のイメージ

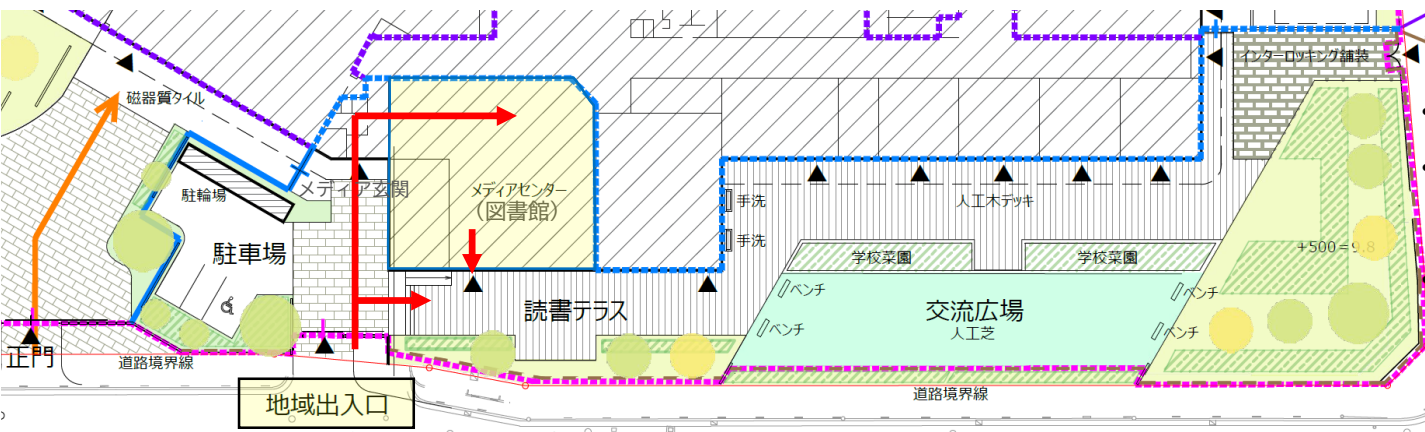
	学校教育活動時間 (16:00まで)	放課後 (16:00~18:00)
月	学校利用	地域開放なし
火		地域開放
水		地域開放なし
木		地域開放
金		地域開放なし
土	地域開放なし	
日	地域開放 (10:00~16:00)	

・学校教育活動に影響がない範囲で設定
 平日・・・午前1日、放課後2日 程度
 休日・・・土日のうち1日
 曜日や時間は、学校の運用により決定する

長期休暇中は夏休みのみ開放

- ・ 週2日 (平日1日、土日のうち1日)
- ・ 10:00~16:00

③ アクセスと設備



- ・ 地域出入口から入りメディア玄関を使用
- ・ 駐車スペースあり
- ・ 図書館内は約25,000冊分の蔵書スペース (うち約5,000冊は地域開放用図書)
- ・ 読書テラスや交流広場も利用可能 (セキュリティラインあり)

図書館の地域開放

④ 読書テラスと交流広場

読書テラス ・屋外で読書やグループ活動が可能



参考：右京中央図書館

交流広場 ・芝生の上で体を動かしたり、くつろいだりできる
・子どもも楽しめる



参考：和歌山市民図書館

⑤ 管理方法

	管理方法
図書の閲覧・貸出	・学校図書は一般貸出せず閲覧のみ可 ・地域開放用図書は閲覧・貸出ともに可 ・ <u>市立図書館の図書の取り寄せ、返却が可</u>
貸出方法	・児童生徒は1枚の貸出カードで学校と地域開放用図書ともに貸出 ・一般利用者は市立図書館の貸出カードで貸出
司書配置	・休日を含め地域開放時は、図書館司書を1人配置 ・図書館司書は学校が利用する時間を含めて委託化

和泉市の中学校・義務教育学校では初めて、標準服を導入しません。

アンケートや富秋中学校での服装自主選択制登校の試行実施を複数回実施し、保護者・児童生徒・教職員の意見を集約し、決定。

全学年で自由服を基本としたうえで

- ・ 小学生には、参考となる服装は示さない
- ・ 中学生には参考となる服装の例を示し、

その服装を採用・購入するかどうかは各家庭の判断に委ねる

服装規定のない豊中市の中学校2校の視察等により、進路指導や日常の教育活動において、標準服の有無による影響がないことを確認済み

■ 富秋学園留守家庭児童会の運営方法

- ・民間事業者への委託を予定

※和泉市では、留守家庭児童会の安定的な運営のため、民間委託化を検討しており、槇尾学園で試行実施しているところであるが、様々な遊びができるなど、児童・保護者から好評のため、富秋学園、信太、鶴山台北、鶴山台南小学校に一括で民間委託を導入。

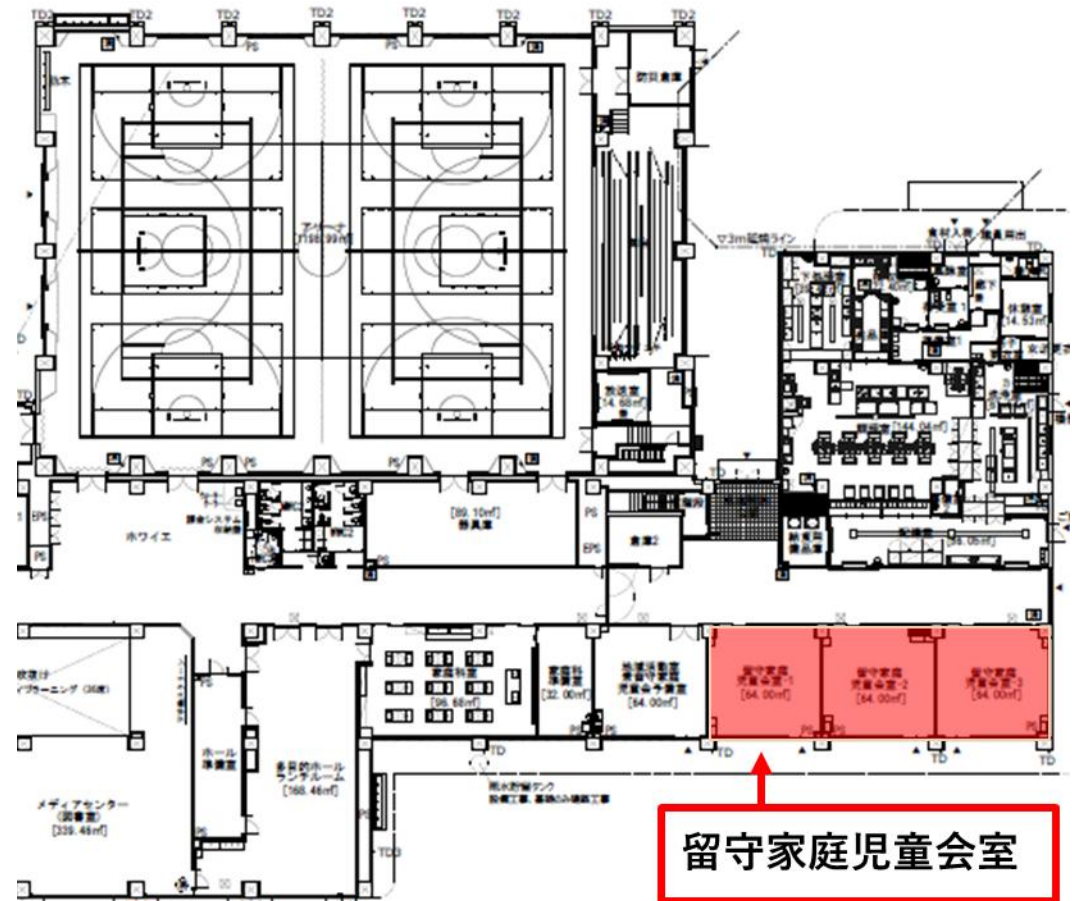
富秋学園留守家庭児童会の運営について

開設場所

- ・ 1階の専用教室を利用

教室数

- ・ 3教室
- ・ 3教室中1教室が可動式の壁により、2教室分の大きな1教室として利用可能



留守家庭児童会の保護者負担金について

	金額	備考
負担金	5,500円/月	・同一世帯において2名以上の児童が利用する場合、2人目以降は半額（2,750円）。
延長負担金	1,500円/月	・午後6時以降の保育を利用した場合必要
諸費	1,500円/月	・各クラブで提供するおやつ、教材費等。
保険代	800円/年度	

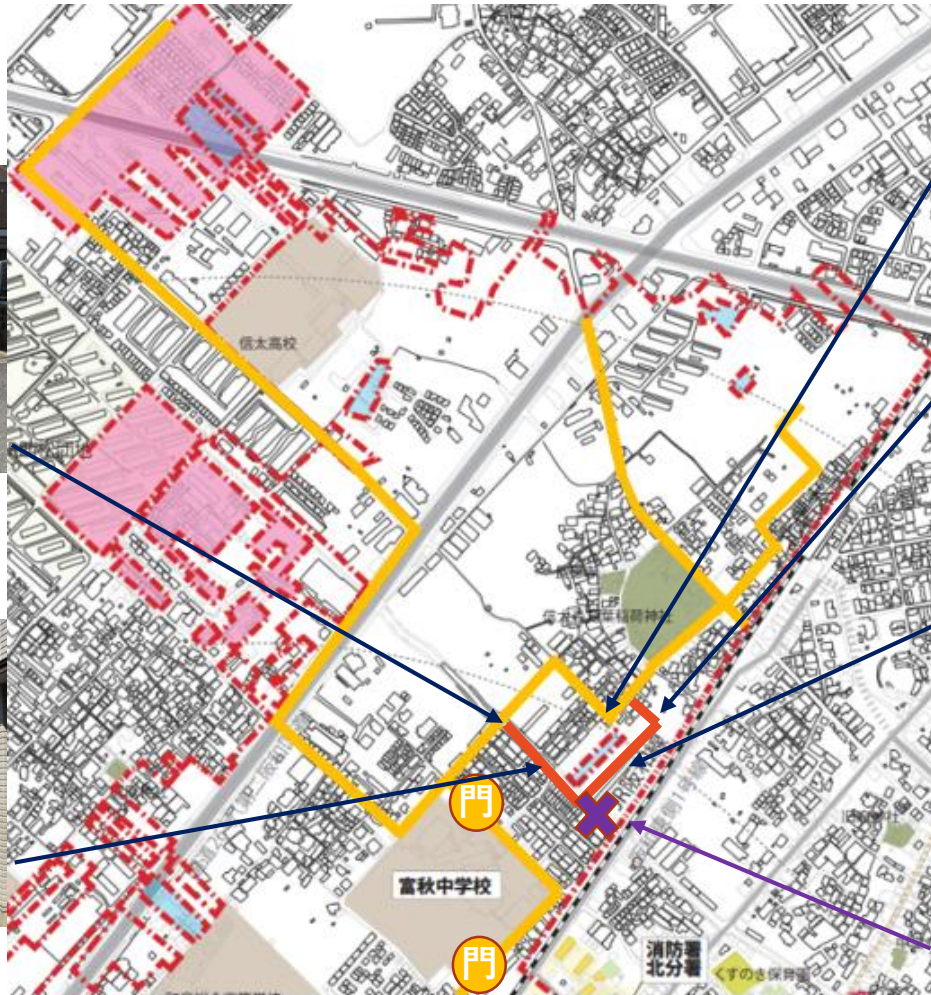
※負担金・延長負担金については、減免制度があります。

※運営を民間事業者へ委託した場合でも、運営時間や保護者が負担する金額は、直営と同じです。

4. 通学路について

葛の葉町から富秋学園への通学路

- : 通学路案
- : 検討箇所



1. 道が細く、見通しがよくない。



2. 見通しのよい新道路を通学路に指定。



5. 葛の葉橋

4. 川の横を通る。



3. 交通量が多く、見通しがよくない。

さらなる安全確保に向けて、検討を進めています



新しい施設で安全な通学環境を確保します。
学校の選択の参考として、本資料を参考にご検討ください。